

## 第4回 飯山市行政改革推進委員会 概要

日時 平成30年12月26日(水) 15:30から  
場所 飯山市役所3階 31会議室

### 1 開 会

### 2 会長 あいさつ

答申を出せるものに作り上げるため、みなさまのご意見をお願いしたい。

### 3 審議

#### (1) 飯山市第6次行財政改革大綱(素案)について

委員 整備されたインフラの維持に関心がある。今後も生活できる地域づくりにつながる内容が必要と考える。

委員 公共施設の更新に約800億円が必要であるという記載があるが、目標の18億円とは別の基金を今後設けるのか。

事務局 基金残高の適正額について、標準財政規模の1割、建物の減価償却済額の1割程度等という意見がある。今回はこの2つを合わせて18億円としている。災害時の対応についても標準財政規模の1割分に含まれている。

実際施設を建設する場合は、交付税措置のある起債の活用を考えている。

委員 まちづくりのところに男女共同参画の推進の場を設けることについて重要と思う。ただ、組織づくりの中では、表記が後退している感がある。

事務局 項目を整理する中で、「コンプライアンス」と「男女共同参画」を行政の組織づくりの中にまとめている。

委員 行政組織の中で、立案や課題解決のため男女共同参画の推進も必要となるものと考えている。

委員 若者は思っているところがあってもなかなか行事等に参加しない。次の飯山市を担う若者がまちづくりに係わるきっかけのようなものを行っていただけるよう要望する。

また、まちづくりの項目の中に、前向きなものも入れて欲しい。

委員 「将来にどうつなげていくのか。」という方向性のようなものが重要と考える。

委員 インフラやライフラインを維持しつつも、どの程度市民が我慢できるかというバランスが大事になると思う。

委員 資料の中でインパクトのある表現も必要であると感じた。

委員 公共施設の更新に際して、古い建物をリニューアルし、地域を活性化させる場所として“活用”してもよいと思う。

消防団員も減るなかで、10~20年後に向けて区の役員の役職等を改正するという話があったが、消防団についても今からの検討が必要と考える。

委員 「担税力の向上」はとても大事である。「歳入確保の強化」の項目に、所得の増加対策に向けたものを入れるべき。5年間では結果がでないかもしれないが、「将来の歳入確保」の対策として重要である。

会長 経済対策は重要である。遊休の工場用地対策も大きな課題である。人口減少への対応策を検討するのに5年間の期間は短いかもしれないが、インフラや行政サービスの維持のためまちのコンパクト化など大きな課題があると感じている。

### 4 今後のスケジュール(予定)

- ・パブリックコメント 1月中に実施
- ・答申 2月中

### 5 閉会 (17:00)